

ストップ! 温暖化。みんなでチャレンジ、エコ活動

二酸化炭素 (CO₂) を減らして、地球温暖化を防止しよう!

曾於市では、平成 21 年度に策定した『曾於市環境基本計画』に基づいて、様々な施策や取組を行っています。また、市民の皆様にも環境に配慮した活動等にご協力いただいているところです。

そこで、今回は、皆様と一緒に【私たちに、地球温暖化が与える影響】について、再度考えてみたいと思います。

「地球温暖化」と私たちの食料

食べ物が不足する?

豊かな食生活を送っている日本の私たちには信じられないことかもしれません。しかし、「地球温暖化」の影響によって、世界の各地で「食糧難」が起こるかもしれないと危ぶまれています。そこで、「温暖化」という地球レベルの問題と私たちの「食」という個人レベルの問題が、どのようにつながっているのかを探ってみましょう。

どうなる? 私たちの「食」

日々、私たちの命を育てている食べ物。その食べ物の生産は、気温・海水温・降水量・日射量などの様々な自然条件に左右されます。「地球温暖化」は、調和のとれていた自然環境のバランスをくずしてしまい、食べ物の生産に大きな影響を与えるだろうと言われています。

日本へ迫る「食糧危機」の足音

日本の食糧自給率は約 40%。私たちが消費する食べ物は、その多くを外国に頼っています。食料生産が世界的に減少すると、日本でも「食糧危機」が起こらないとは限りません。

日本の食事に欠かせない「大豆」の 90%以上、「小麦」の 80%以上が外国で作られています。そして、「国産」と表示されている豚肉や牛肉、鶏肉などを生産するための飼料用穀物は、ほとんどが外国産です。肉 1 kg を生産するためには、その数倍から数十倍の量の飼料用トウモロコシが必要だと言われています。日本へ穀物を輸出している国の生産量が減少すると、その国は食料を自国内の消費にあてるため、輸出を規制し、日本に入ってくる食料が減り、めぐりめぐって私たちの食品が少なくなるかもしれません。

ベジタブルガーデンは一石二鳥

近年、家庭菜園が注目されています。趣味と実益を兼ねた楽しみというわけです。それだけではなく、「手作りした野菜は安全」だからということも、流行の理由だとされています。ちょっとした区間が庭にあれば、草花のかわりに野菜を育ててみましょう。葉や実の色、草丈などに注意しながら、オシャレに植え付けて育てましょう。見た目も美しく、十分に鑑賞に値します。そして、収穫した野菜をいただく楽しみが……。ベジタブルガーデンは一石二鳥に楽しめるのです。